

ふるさと館発

ふるさと館クラブ

開催

ふるさと館では、平日夕方に行うイベントを「ふるさと館クラブ」と表し、小中学生を対象とした体験学習を開催しております。

6月7日・21日には古代権力の象徴であった「古代の宝石勾玉作り」を実施しました。また、6月14日、28日には縄文・弥生の本物による「土器の復元体験」を行いました。

定員を大きく上回る時もあり、参加者からは「難しかったけれど、完成したときはうれしかった」「もう一度つくってみたい」等の声が聞かれ、楽しみにしながら、歴史にふれることができました。今後も様々な催しを開催していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

図書館発

図書館まつり実行委員会を募集します

毎年恒例の図書館まつりを、10月14日、15日に開催します。開催にあたり、企画・運営に携わっていただく図書館まつり実行委員のボランティアを募集します。

○ 仕事の内容は、実行委員会においてイベントの内容を企画・準備し、当日は運営に関わっていただきます。

会議は当日までに平日の夜、2回行います。

無償のボランティアとなります。

○ 当日のみのボランティアも大歓迎です。興味のある方は、市立飯山図書館（TEL 62-1118）まで気軽に問い合わせてください。

第8回女性センター未来文化講演会開催

6月23日、29日の男女共同参画週間にあわせ開催いたしました。

ノンフィクション作家の沖藤典子さんを講師に、ご自身の生きてきた道をふり返りながら、自分の親と夫の親の介護への葛藤や、仕事と家庭を両立するうえでの問題などをお話していただきました。社会通念や思い込みにとらわれることなく、男女とも生きやすい社会をつくり、子どもが未来に希望を持てる地域づくりをしましょうと話されました。

美術館発

常設展示は「美術館の顔」

飯山市美術館の常設展示では、市出身あるいは郷土にゆかりのある芸術家の作品を展示しています。

常設展示の展示替えは春と秋で年2回行っていますが、現在は、長谷川青澄・佐藤武造・岡登貞治・浦野吉人・駒村久弥・岩上隆静・斎藤一郎・河野文夫・相原求一朗の絵画作品等を約70点を展示中です。

「美術館の顔」とも言うべき常設展示を是非一度ご覧下さい。



公民館発

爆と人間展

平和について
考えてみませんか。

期間 ~7月30日(日)
会場 飯山市公民館 1階通路
内容 パネル展示

市民作品展示ギャラリー「はなはな」

飯山市公民館では、「市民作品展示ギャラリー」において「日本画二人展」と題し、丸山金蔵さんと清水勅夫さんの作品3点を展示しております。お立ち寄りください。

「市民作品展示ギャラリー」では、皆様の展示希望を随時受け付けております。展示についてのお問い合わせは飯山市公民館までお願いいたします。

公民館報 いいやま

No.602

平成18年(2006)7月15日発行
発行・編集：飯山市公民館
〒389-2253
飯山市大字飯山1436-1
電話：0269-62-3342
FAX：0269-62-5940

いいやまウィークエンド教室

「かえるの学校」開かれる

飯山市公民館 外様公民館共催

6月24日(土)、「かえるの学校」が今年も桂池周辺で開催されました。

地元を熟知する田村見城さんをはじめ、上原脩さん、大熊政彦さん、柳井一郎さんを講師に総勢54名(うち小学生以下24名)がモリアオガエル、クロサンショウウオの卵、山野草の生態を学習しました。

桂池でバスを降り、20分くらい歩くと熊の巣池に着きます。天敵が少ないのかモリアオガエルはここを産卵地としています。途中、ギフチョウやヒメギフチョウのえさとなるウスバサイシンや小さなブナの芽なども見ることができました。

肝心のモリアオガエルは、晴天が災いしたのかその姿が少なく、それでも子どもたちは目を輝かせながら枝に産み付けられた卵などを観察していました。



短い時間の中で山の魅力や自然の豊かさ、生命の神秘などを知る貴重な体験ができたことと思います。

飯山市地域子ども教室

竹の子狩りいんとん平開催

太田公民館

今年は、大雪の影響と少雨のせいもあって昨年より1週間ほど遅らせて実施しました。

小中高生合わせて24名、大人が16名と賑やかにとん平に入りました。メイン講師は昨年同様、太田の山の達人 大口千春さんにお願いました。

また、今年は趣向をかえて若干の登山を入れての実施となり、日頃自動車での移動に慣れっこになっている子ども達ですが、いざとなると元気いっぱい！引率の大人は少々疲れ気味でしたが中腹からみおろす飯山盆地の眺めは格別でした。

さて、竹やぶに入った子どもらはうちへのお土産と真剣そのものの、親子連れのお父さんも久々に子ども達にいいところを見せようと頑張っていました。が、収穫はどうだったのでしょうか？

最後にお決まりは、竹の子汁でおにぎり！最高です。来年も頑張つて実施しますよ。

利用者の声

生涯学習に短歌を

飯山ヒムロ短歌会 小林 幸雄

私達の飯山ヒムロ短歌会は、はじめヒムロの仲間で結成した短歌の会です。

発足以来この6月で109回の例会を飯山市公民館を会場に開いてきています。

新アララギの選者の新津澄子先生や、ヒムロの選者の小出春善先生を招いて指導してもらっていましたが、今は特定の指導者を置いていません。しかし仲間同士で心ゆくまで批判し合い研鑽を積んでいます。

ごく初歩の人からベテランまでの会員は、常に7、8名の参加があり、時には中野市や長野からも参加してくれています。

参加はヒムロ会員に限定せず、一生懸命に短歌を勉強したいという人なら老若男女誰でも参加できることにしてお



本会は、基本的には、アララギ系の短歌会で、写真とリズムを基調とした短歌を学ぼうとしています。

短歌は、美しい日本語を使って五七五七七の音節のリズムのせて作る日本特有の短い抒情詩です。

自然を感じ取り、物をみつめ、生活をうたい上げる短歌は、生涯学習の1つとして相応しいものと思います。

皆さん一緒に短歌を作ってみませんか。